

経営比較分析表（令和5年度決算）

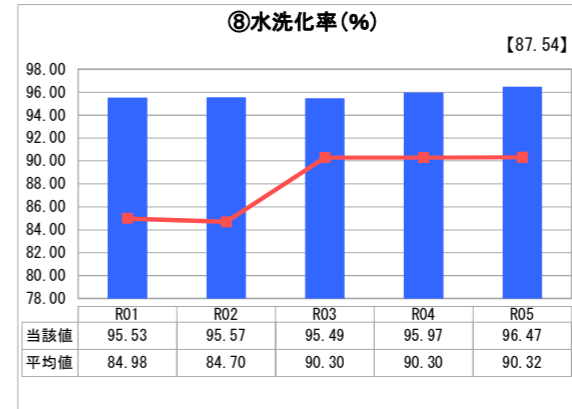
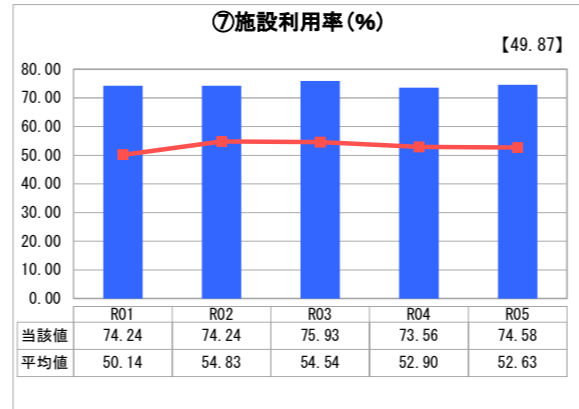
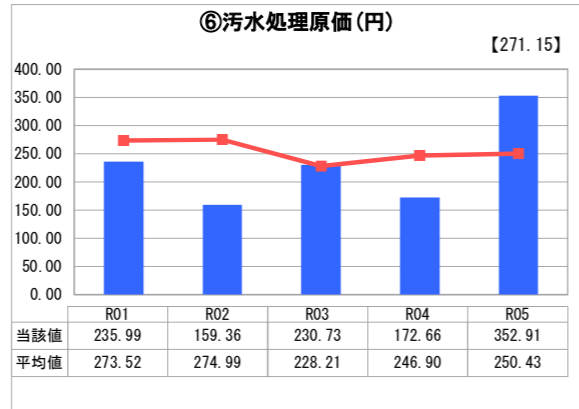
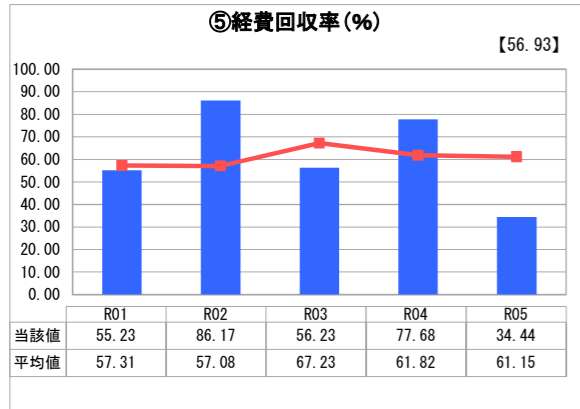
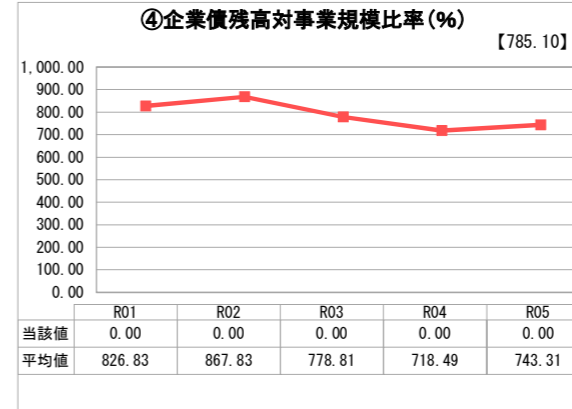
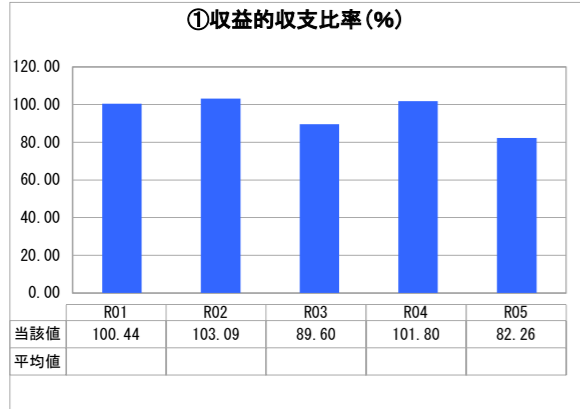
茨城県 ひたちなか市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.51	100.00	3,340

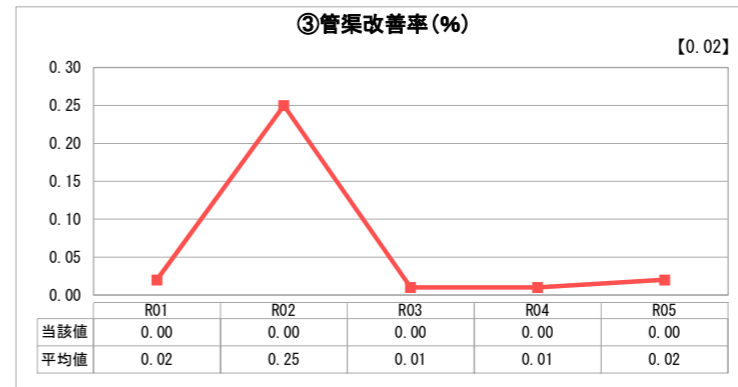
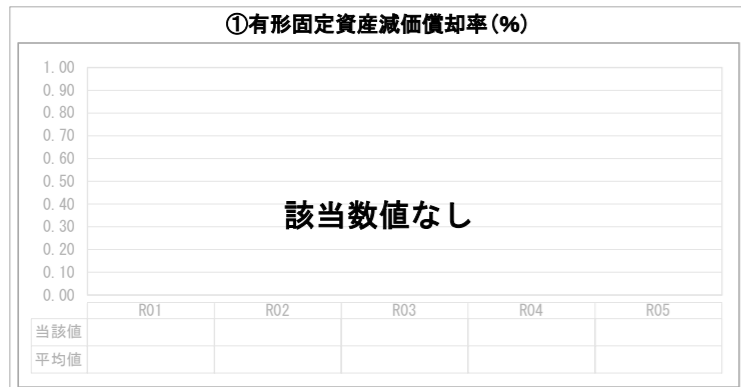
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
155,762	100.26	1,553.58
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
793	1.62	489.51

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

今年度の収益的収支比率は82.26%となり、昨年度と比較し数値が悪化した。経営的観点からみても、一般会計繰入金の割合が高く、経費の削減や適正な使用料水準への見直しを今後検討していく必要があると考えている。

企業債残高対事業規模比率は0%であり類似団体平均値と比較すると低い数値となっている。その要因は企業債残高に対し一般会計負担率が高いためである。

今年度の経費回収率は34.44%となっており、また、汚水処理原価についても352.91円と類似団体と比較すると経営指標的に悪い数値となっている。昨年度よりそれぞれの指標が悪化した主要因としては、公営企業会計移行事務支援業務委託料の支払いを行い、汚水処理費用(維持管理費)が増額したためである。今後についても、施設の更新等異なる汚水処理費用の増加が見込まれることから、収益的収支比率での分析同様、経費の削減や適正な使用料水準への見直しを今後検討していく必要があると考えている。

施設利用率と水洗化率はそれぞれ74.58%、96.47%となっており、類似団体と比較して高い数値になっているものの、いずれも100%未満であることから、今後も接続率・水洗化率の向上に努め、能率的な事業経営を進めていく。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率は0%であり類似団体と比較しても低い数値となっている。現時点では管渠の改善の必要がないことから、管渠の更新投資を行っていないことが要因となっている。

しかし、今後は施設の老朽化が進むことから最適整備構想で策定した内容を精査し、計画的な維持管理を行える取り組みをしていかなければならない。

全体総括

経営の健全性・効率性の分野での分析を総括すると、類似団体と比較して経営指標が悪く、更に収入の半分以上が一般会計繰入金となっているため、経営状況としては厳しいものとなっている。一般会計繰入金の部分において使用料収入に振り替えられるような適正な使用料水準への見直しを今後検討していく必要があると考えている。

また、現時点で目立って老朽化している施設は見受けられないが、今後は機能診断調査・最適整備構想を踏まえた上で、効率的な施設の更新等実施しながら事業経営を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。